

早いもので今年も残すところあと僅かとなりました。12月はお子さんたちにとって楽しい行事がある一方で、寒くなり体調を崩しやすくなる時期でもあります。今年には特にヒトメタニューモウイルスによる上気道炎や気管支炎が多く見受けられ、罹患すると発熱や咳の症状が続いて辛そうです。11月から12月にかけて利用の申し込みが多く、キャンセル待ちなどで皆様にはご不便をおかけいたしました。まだこの感染症はしばらく注意が必要と思われますので、新型コロナと同様に感染対策を続けていしましょう。ヒトメタニューモウイルスをはじめとした感染症についてはこのおたよりで詳しく記載しておりますのでご覧ください。

ほほえみでは利用されたお子さんの様子について、写真等でその日の様子を伝えるようにしているところですが、11月からは少しだけ中身をリニューアルし、「ほほえみメモリー」というタイトルをつけました。初めて病児保育を利用される時には、親子ともども不安でいっぱいかと思いますが、なるべくゆったりとした雰囲気の中でお子さんの症状や発達段階に応じた保育看護を心がけていますし、様子を分かりやすく伝えることで保護者の皆様の安心にもつながればと思います。ご理解ご協力の程よろしくお祈いします。

0歳児



ほほえみでしている
遊びの紹介～制作編～

発達段階に合わせ
描いたり作ったり
しています



1歳児



上下左右に手を
動かして
なぐり描きしたよ



2歳児



顔を
描いてるの



シール貼り楽しいな♪

3歳児



4歳児



ハサミを使って
制作中

5歳児



折り紙で
素敵な作品
ができたよ



今日の予定を
書くよ！何して
遊ぼうかな？



『ほほえみメモリー』始めました

これまで、ほほえみを利用された日に写真で遊びや生活の様子を伝えておりましたが、この度リニューアルしました。

「ほほえみメモリー」と名付けアルバム風にして手渡しています。これまでの写真の他に「今日の遊び」と「体調・状態」を付け加えて記入しています。

元気になって保育所に復帰した時に、どう過ごしたか回復の経過を知っていただくために、担任の先生方にも見ていただきたいと思い作りました。

「ほほえみメモリー」を介して、保育所とほほえみが一体となって子どもたちの育ちを応援したいと思っています。

この冬気をつきたいウイルスと感染症



RSウイルス*ヒトメタニューモウイルス

「ヒトメタニューモウイルス」あまり聞き慣れない名前ですね。2001年に発見された比較的新しいウイルスで気管支炎や肺炎などをおこすウイルスです。症状はRSウイルス感染症とほぼ変わらず、どちらに感染しているかは検査してみないとわかりません。初感染年齢がRSウイルスは2歳までにほぼ100%感染するのに対し、ヒトメタニューモウイルスは生後1カ月未満の感染はほとんどなく、1～2歳以上で初感染し、重症化することがあります。RSウイルスはクループ症候群(下記の図参照)の原因のウイルスの一つになります。

| | RSウイルス | ヒトメタニューモウイルス |
|----|----------------------|--------------|
| 年齢 | 0歳以上(生後6か月未満で重症化リスク) | 1歳以上 |
| 発熱 | 有り | 有り |
| 咳 | 有り | 有り(多い) |
| 鼻水 | 有り(多い) | 有り |

潜伏期間: 3～5日

感染経路: 飛沫感染、接触感染 ひとの咳、くしゃみ、話している時のしぶき、ウイルスのついた手やその手で触ったものに触れて舐めたりすると感染します。

治療: 特効薬はなく、対処療法。水分をしっかりととり、温かくしてゆっくり休むことが大切です。咳で眠れない時、少し上体を起こしてこまめに水分をとらせてあげましょう。

合併症: 細菌への同時感染も注意が必要です。細菌感染には抗菌薬が必要になります。熱が長引く場合、中耳炎や細菌感染を起こしている可能性があるため、一度病院を受診しましょう。

手洗い、うがい、マスク など基本的な感染対策を行っていきましょう
アルコール消毒も有効とされています



クループ症候群



乳幼児は急変しやすく呼吸困難を起こすこともあるので、この咳が出始めたらすぐに受診しましょう。声の枯れ、息を吸う時にヒューヒュー音がする症状も出現しますご家庭では、部屋の湿度を上げ、やや頭を高くして寝かせましょう。咳き込む時は体が少し前屈みになるようにして胸や背中をトントンとたたくと、呼吸が楽になるようです。

予防接種はお子さんとそのご家族を守ります

お子さんは大人に比べて免疫力が弱いために、受けておくべき予防接種がいくつかあります。予防接種を受ける理由は以下の3つです。

- ・病気にかからないための予防
- ・病気にかかった時に重症化しないため
- ・周りの人にうつさないため



保護者が心配するのは副反応です。発熱や接種部位の腫脹など軽い副反応は数日でほとんど治まります。重篤な副反応として届け出があるのは10万人の中で多くても1～3人です。また、届け出のあった副反応の中には予防接種との因果関係が不明なものも多く、実際の発症率ももっと低いと考えられています。予防接種のリスクは感染症にかかって重症化するリスクよりはるかに少ないと言えます。

新型コロナウイルス感染症拡大にあたり、安心してほほえみを利用していただくために送迎者の検温測定、予約の時点で保護者の方、同居家族の方の体調の確認・感染者との接触の有無などについて聞き取りを行っています。ご協力ありがとうございます。

年末年始は12月30日(金)～1月4日(水)まで休所しております。